

展覧会スケジュール EXHIBITION SCHEDULE

■印は休館日

※各種展覧会の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。 ※記載内容に関しましては、変更される場合がございます。

2023	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024	1	2	3
開館日のご案内	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	

COLLECTION	平山郁夫	旅のはじまり	4月8日(土)~6月11日(日)	文化の通り道	6月16日(金)~9月18日(月・祝)	風土の美しさ(前期)	9月30日(土)~12月3日(日)	風土の美しさ(後期)	12月14日(木)~2月25日(日)
	佐藤忠良	造形の追求	4月8日(土)~7月2日(日)	四季のうつろい <small>コーナー展示</small>	7月11日(火)~9月18日(月・祝)	自然との対話	9月30日(土)~12月3日(日)	子どもたちへの願い	12月14日(木)~2月25日(日)
	楽直入	守破離の彼方	3月16日(木)~9月18日(月・祝)			吉左衛門X 浦上玉堂X 楽直入	9月30日(土)~1月28日(日)	玉堂へのオマージュ	1月30日(火)~2月25日(日)

休館のお知らせ
2月26日(月)~3月29日(金)
館内メンテナンスのため、休館いたします。

EVENT	ワークショップ	ワークショップ	ミュージアムコンサート	トワイライトコンサート	美学(全5回)
	4月15日(土)	8月3日(木)・4日(金)	4月22日(土)	9月2日(土)	10月14日(土)~11月18日(土)

※各イベントの詳細はホームページでご確認ください。

生誕100年 山下清展
百年目の大回想
4月8日(土)~6月11日(日)

“放浪の天才画家”と称された山下清(1922-71)。18歳で放浪の旅を始め、49歳でその生涯を閉じるまで、緻密で精巧な描写による独自の世界観を確立し、貼絵を始め様々な作品を手掛けました。本展では、貼絵や油彩、水彩画、ペン画、陶磁器など多彩な作品を含め、約190点を展観。幼少期に描いたとされる貴重な鉛筆画から遺作となった《東海道五十三次》シリーズまで、さらに1961年のヨーロッパ旅行に持参したスケッチブックのうち初公開の習作もご紹介します。



《ソニコンロケット》貼絵 1959年頃
株式会社増田屋コーポレーション蔵
©Kiyoshi Yamashita / STEPeast 2023

めっちゃ! 昆虫展
7月11日(火)~9月18日(月・祝)

2023年夏の佐川美術館はムシ(虫)熱くなります! 世界に100万種以上が生息しているといわれる昆虫。4億年以上前に誕生して以来、様々な環境に適応して独自の進化を遂げてきました。全生物種の6割以上を占めるともいわれ、地球はまさに昆虫の惑星といっても過言ではありません。本展では、昆虫の魅力を知り尽くした関西4つの博物館・昆虫館などの監修のもと、最新の知見を交え、昆虫の標本や写真、映像、模型などで、めっちゃすごい! 昆虫の魅力をご紹介します。



《ヘラクレスオオカブト》
撮影: 海野和男

ガウディとサグラダ・ファミリア展
9月30日(土)~12月3日(日)

スペインの建築家アントニ・ガウディ(1852-1926)は、一度見たら忘れることのできないそのユニークな建築で、今なお世界中の人々を魅了し続けています。長らく「未完の聖堂」と言われてきたサグラダ・ファミリアも、いよいよ完成の時期が視野に収まってきました。本展ではサグラダ・ファミリア制作における図面や模型など100点を超える作品に加え、最新技術で撮影された建築映像も交えながら、ガウディの建築思想と創造性の源泉、さらにはこの壮大な聖堂のプロジェクトが持っていた社会的意義を解き明かしていきます。



《サグラダ・ファミリア、2022年12月撮影》
© Fundació Junta Constructora del Temple Expiatori de la Sagrada Família

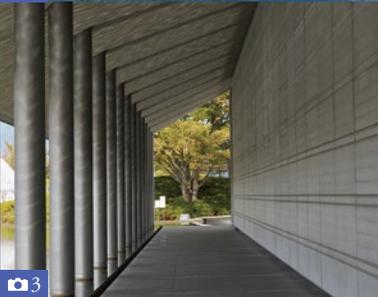
さがわきつづみゅーじあむ 展示イベント
エッシャー展
不思議のヒミツ
12月14日(木)~2月25日(日)

視覚の魔術師とも言われるM.C.エッシャー(1898-1972)が描いた不可思議な世界観は、現在においても私たちの心を掴んで離しません。この冬お届けするエッシャー展では、皆さまを驚異のトリックワールドにお連れします。本展ではエッシャー財団の協力のもと、初期から代表作に至るまでの100点以上もの作品を展示すると同時に、これらの作品の錯視や視覚の原理を利用した体験コーナーを併せて紹介。トリックの面白さを体感することで、より深くエッシャーの世界観を感じることでしょう。ニューヨークやシンガポール、ローマなど世界を巡回し大人気を博した展覧会をお楽しみに!



ミュージアムカレンダー
2023.4-2024.3

SCHEDULE OF THE MUSEUM 2023



美術館のご案内

開館時間 | 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 | 毎週月曜日(祝日にあたる場合はその翌日)、展示替期間、年末年始 開館カレンダーをご参照ください。
※臨時休館する場合がございます。

入館料 | 一般1,000円 高大生600円 ※要学生証提示
中学生以下無料 ※ただし保護者の同伴が必要
※企画展開催時は、その都度定める料金。
※WEB事前予約制を実施している場合有。
障害者手帳をお持ちの方(要提示)、付添者(1名のみ)無料

友の会会員募集のご案内 | 一般会員/年会費 3,000円
特別会員(個人、法人)/年会費 30,000円
※(年間を通じて入館料無料)等の特典がございます。
詳しくはお問い合わせください。

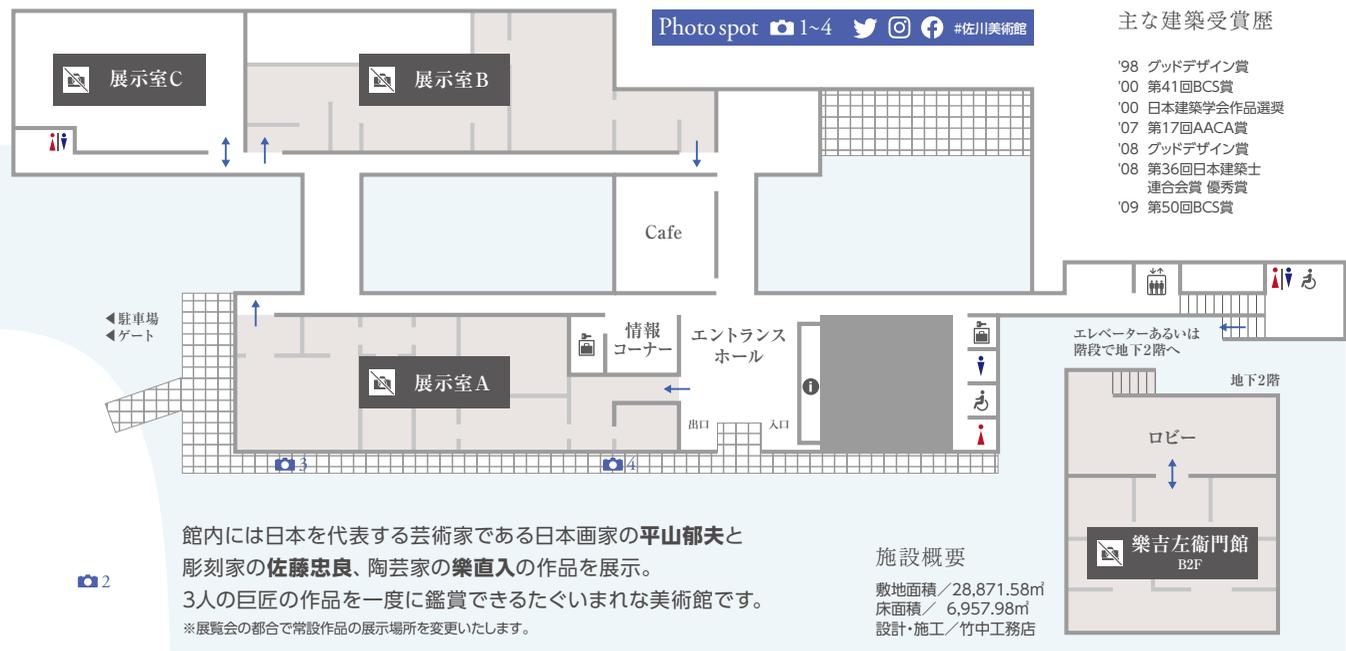


水庭にたたずむ美空間

佐川美術館は、佐川急便株式会社創業40周年記念事業の一環として、滋賀県・守山の地に開館いたしました。

水庭に浮かぶようにたたずむ建物は、和の印象を重視した切妻造の2棟の平屋で、それ自体がアート。

周辺の自然環境とも調和し、風景、建物、作品が一体感ある美しさを醸し出しています。



来館される皆様へのお願い

- 館内は「話し声」や「笑い声」が大変響きやすくなっています。他のお客様のご迷惑になりますので、静かにご鑑賞ください。展示室以外の場所でもできるだけ小さい声でお話してください。
- 作品及び展示物(額縁、展示ケースも含む)には、触れないでください。
- 展示室・茶室内での写真・ビデオ撮影は禁止です。
- その他、館内では係員のご注意をお聞きいただき、皆様が心地よく鑑賞できる環境作りにご協力ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み

発熱等の症状がある方はご来館をお控えください。制限緩和後も、感染拡大防止へのご協力をお願いします。

茶室見学についてはホームページでご確認ください

Twitter @SagawaArt

佐川美術館 公式ツイッター

Instagram sagawa_art_museum

佐川美術館 公式インスタグラム

COLLECTION ARTIST

平山郁夫 (1930-2009)

日本画家。広島県出身。東京美術学校(現・東京藝術大学)で前田青邨に師事。15歳の時に被爆し、後遺症に悩まされるなか「平和の祈り」を込めて画業を積み重ねる。玄奘三蔵の求法の旅を追体験し、「シルクロード」をはじめ「仏伝」シリーズなどの作品を手掛け、主に院展を舞台に創作活動を続ける。また「文化財赤十字構想」を提唱し、文化財保護活動にも奔走。日本人初のユネスコ親善大使を務めるなど多方面で活躍。

佐藤忠良 (1912-2011)

彫刻家。宮城県出身。少年時代を北海道で過ごし、絵画を学ぶために上京するが、ロダンやマイヨールなどに感銘を覚え彫刻家を志す。東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業後、新制作派協会(現・新制作協会)を舞台に活躍。終戦後のシベリア抑留生活の体験から、ごく普通の日常生活の中でほんの一瞬だけ垣間見る「人間の美」を追求した作品を多く手掛ける。1981年、パリの国立ロダン美術館で日本人初の個展を開催。

樂直入 (1949-)

陶芸家。京都府出身。樂家十四代覺入の長男として生まれる。1973年、東京藝術大学卒業後イタリアへ留学。覺入の没後、1981年に十五代吉左衛門を襲名。桃山時代に樂茶碗を造り出した初代長次郎以来、450年の歴史と伝統を継ぐ樂家十五代として、伝統に立脚しながらそこに安住することなく、常に斬新な感覚を示す造形美の世界を表現し続けている。特に「焼貫」の技法を駆使し、大胆な篋削りによる彫刻的ともいえる前衛的な作風が特徴。



佐川美術館
SAGAWA ART MUSEUM

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891
TEL. 077-585-7800 FAX. 077-585-7810
https://www.sagawa-artmuseum.or.jp/